

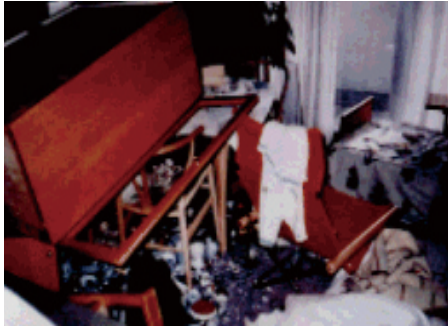
## 4 地震から命を守るために（平常時の備え）

### 家具等の安全対策について

近年発生した大きな地震では、多くの人が自宅だけでけがなどの被害にあっています。

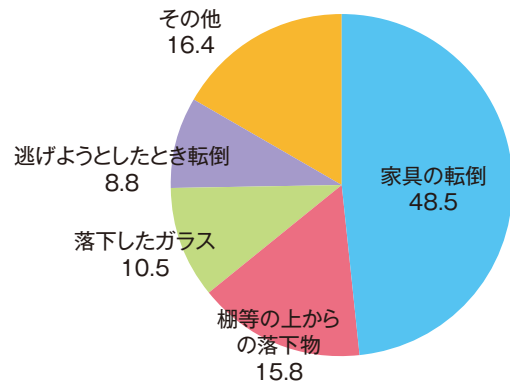
その原因を調べてみると、約50%が家具類の転倒・落下によるものでした。

家具の転倒・落下防止対策を実施しておきましょう。



家具等の転倒

阪神・淡路大震災でけがをした人の原因  
(神戸市消防局調査)



#### ●安全対策のポイント

普段の生活で以下の安全対策を心がけましょう。

- ・家の中に、家具のない安全なスペースを確保する。
- ・寝室や子供・高齢者・障害者がいる部屋には、倒れそうな家具を置かない。
- ・出入口や通路には物を置かない。
- ・家具の転倒や落下を防止する対策を講じる。

#### ●地震に強い家具の置き方・使い方

簡単なことから始めてみましょう。

- ・収納するときは重いものを下に、軽いものを上にして、重心を下げる。
- ・家具の上には何も置かない。
- ・家具の下に転倒防止の板を敷き、壁にもたれ気味に置く。
- ・背の高い家具、重量のある電化製品は金具などで固定する。
- ・家具類にガラスが使われている場合は、飛散防止フィルムをはる。

### 転倒防止の例

①食器棚はL字金具や突っ張り棒などで固定し、扉が開かないよう留め金具をつける。



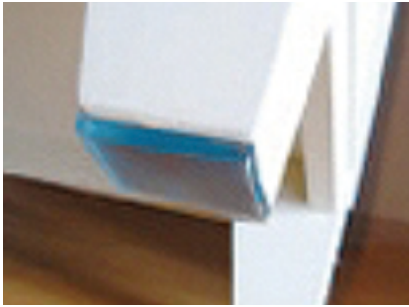
②たんすはL字金具や突っ張り棒などで固定する。



③本棚はL字金具や突っ張り棒などで固定し、重い本は下に置く。



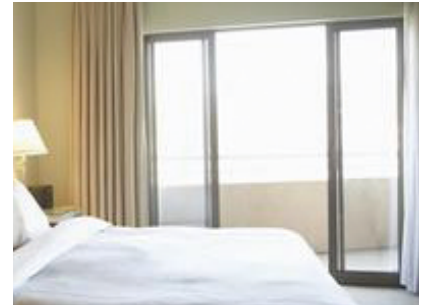
④テレビや電子レンジは粘着性マットで固定する。



⑤懐中電灯を用意する。



⑥ガラスに飛散防止フィルムをはる。



## 耐震診断及び耐震補強について

以下のチェックポイントで気になる項目があれば、耐震診断を受けましょう。

耐震診断の結果、耐震性に不安がある場合は、耐震補強を行いましょ。

名取市では、耐震診断及び耐震補強に対する支援制度があります。

### ・ 建築年はいつ？

建築基準法が改正され、耐震基準が強化された1981年6月より前に建築されている場合は要注意です。

### ・ 過去の災害履歴は？

過去に地震などの災害に見舞われていた場合、外見からはわからないダメージを受けている可能性があります。

### ・ 地盤は？

埋立地、低湿地、造成で盛土した場所、液状化の可能性のある砂質地盤などは要注意です。

### ・ 壁の配置は？

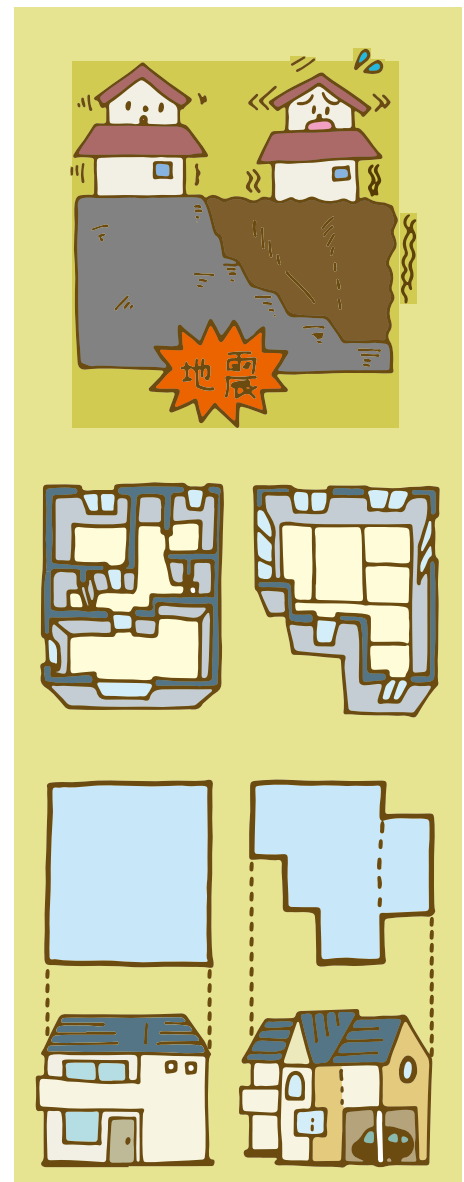
一面がほとんど窓など、壁の配置のバランスが悪い場合は要注意です。

### ・ 建物の形は？

凹凸の多い複雑な建物や大きな吹き抜けがある建物は要注意です。

### ・ 老朽度は？

基礎の腐食やシロアリによる被害は危険です。特に台所や浴室などの水回りや建物の北側は要注意です。



## 5 災害をイメージするために (地震)



震災直後の閑上地区



液状化現象



建物の倒壊



道路の沈下



市図書館の状況



市民体育館の天井

## 1 風水害について

## 名取市で発生した風水害の特徴（国土交通省、宮城県より）

## 9.22集中豪雨（平成6年9月22日～23日発生）

発生確率が約200年に1度と言われる集中豪雨で、樽水ダムで、時間雨量84mm、累計雨量478mmを観測した。

この豪雨で、樽水ダムは洪水調整機能を喪失し（満杯となり溢れ）増田川がはん濫したほか、川内沢川、志賀沢川、五間堀川がはん濫し、局地激甚災害に指定された。

被害は、軽傷1人、全壊2棟、半壊2棟、一部損壊8棟、床上浸水946棟、床下浸水1,737棟、河川の損壊15か所、道路の損壊129か所、がけ崩れ35か所などであった。



9.22 集中豪雨による被害状況（名取市）

## 8.5豪雨（昭和61年8月4日～5日発生）

台風10号から変わった熱帯性低気圧の北上に伴う豪雨で累計雨量は397mmを観測した。

この大雨により、各河川の水位は、警戒水位を遥かに突破した。

被害は、軽傷2人、全壊1棟、一部損壊10棟、床上浸水310棟、床下浸水1,410棟



8.5 豪雨による被害状況（宮城県）

## 閑上地区に発生した「竜巻と思われる突風」（平成10年9月16日発生）

閑上地区（名取川右岸河口付近、閑上1丁目～4丁目）

幅：約50m、長さ：約1,000m、発生時刻：午前5時30分

被害は、半壊2棟、一部損壊92棟

## 2 風水害に関する基礎知識

### 風水害の種類について

主な風水害の種類は以下のとおりです。それぞれの風水害の特徴を理解して、命を守るための対応に役立てましょう。

種類		特徴
洪水	外水はん濫	川の堤防が壊れたり、堤防から水があふれ出す。河川の水があふれることによる洪水
	内水はん濫	川に排水されるべき水が川に流れずにあふれてしまう。排水が追い付かないことによる洪水
土砂災害	土石流	山腹や溪流の土砂が、岩や木とともに一気に下流に押し流される。
	がけ崩れ	急ながけが一瞬で崩れる。
	地すべり	比較的緩い傾きの斜面が広範囲にすべる。
その他	台風	最大風速がおよそ17m/s以上の熱帯低気圧雨は積乱雲が集まったもので、広い範囲に長時間にわたって降り、大雨となることもある。
	竜巻(突風)	積乱雲に伴って発生する強い上昇気流をもった激しい渦巻き 大気の状態が不安定となる気象状況のときは積乱雲が発達して、竜巻が発生しやすくなる。

#### ●集中豪雨について

短期間のうちに狭い地域に集中して降る大雨のことで、平成6年の9.22集中豪雨などがあります。また、**積乱雲が同じ場所で次々に成長し、数時間にわたって、雨を降らせるのが特徴です。**

#### ●ゲリラ豪雨について

発生の予測が難しいことから、通称「ゲリラ豪雨」と呼ばれています。積乱雲が活発化して発生し、局地的に短い時間に大量の雨を降らせるのが特徴です。

#### ●積乱雲について

**集中豪雨、落雷、竜巻の原因は積乱雲（入道雲）です。積乱雲が起こる兆しを見たら、早めの避難が大切です。**

積乱雲の前兆現象は、以下のものがあります。

辺りが急に暗くなる……	巨大な積乱雲が空をさえぎるため
雷が聞こえる……	巨大な積乱雲の下で落雷が集中するため
冷たい風を感じる……	積乱雲の下に形成された重い冷気が、暖かい側に流れ出すことがあるため
ひょうが降ってくる……	竜巻の隣でひょうを伴った強い下降気流が生じることがあるため

## 近年の風水害での犠牲者について

平成16年から平成20年までに発生した22件の風水害の犠牲者307人の分析を行った結果、逃げ遅れて犠牲になった人は年齢に係わらずほとんどいません。

犠牲になった原因を見ると「路肩崩壊に気づかず川に転落」「水田等の見回り中に水路に転落」など、不慮の事故により亡くなるケースが少なくありません。

- 洪水による死者の多くは移動中に流されている。
- 逃げ遅れて自宅で遭難した犠牲者の多くは土砂災害。
- 高齢者は、田畑の見回りに出かけ死亡するケースが少なくない。
- 避難したことによる犠牲者もいる。

### ●原因別死亡者数（静岡大学防災センターより 集計期間：平成16年から平成20年まで）

死因	人数	特徴
土砂	101	土砂によって倒壊した家屋の下敷きになった。 土石流・がけ崩れによって堆積した土砂に巻き込まれた。
洪水	76	歩行中、自転車運転中に流された。 路肩崩壊に気づかず川に転落。 屋内浸水ででき死。
事故	66	水田等の見回り中に水路に転落:32人、川の様子を見に行った:13人、その他:16人(水路の障害物を取ろうとして転落。個人が土のう積み等で遭難など)、県職員・警官・消防団員等が業務中に遭難:5人
強風	36	屋根等で作業中に風で転落。強風による飛来物、倒木に当たった。
高波	13	高波による家屋損壊。沿岸で作業中、見物中に波にさらわれた。
その他	15	情報が極めて乏しい犠牲者。避難中応急対策中の心筋梗塞など



風水害から命を守るためには、気象情報を得て、  
状況に応じ適切な行動をとることが必要

## 防災気象情報

気象情報の種類、それらの情報がどのような状態を意味しているのか、どのように私たち住民に届けられるのか知っておきましょう。

種類	特徴
注意報	災害の恐れがあるときに出される。
警報	重大な災害の恐れがあるとき出される。
土砂災害警戒情報	土砂災害の恐れがあるときに出される。
台風情報	台風が発生したときに出される。
記録的な大雨に関する気象情報	非常に切迫した状況に対して数値等を極力用いず、危機感を訴える短い文書のみによる情報

### ●特別警報（平成 25 年 8 月 30 日から）

平成 23 年台風 12 号による豪雨（紀伊半島豪雨）、伊勢湾台風による高潮のような、警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起こる恐れが著しく大きい場合に発表されます。

発表された場合、経験したことのないような異常な現象が起きる可能性があるため、直ちに命を守る行動をとることが必要となります。

ただし、特別警報が発表されないからといって安心することは危険です。注意報や警報はこれまでどおり発表されます。段階的に発表される情報を活用して、早め早めの行動をとることが大切です。



平成 23 年台風 12 号による被害状況  
(和歌山県新宮市)



平成 23 年台風 12 号による被害状況  
(和歌山県那智勝浦町)



平成 23 年台風 12 号による被害状況  
(和歌山県田辺市)



平成 23 年台風 12 号による被害状況  
(和歌山県田辺市)

ゲリラ豪雨などは気象庁の観測網でとらえられない場合があります。雨の強さや風の強さから避難の参考にしましょう

## 雨の強さについて

下表は、雨の強さに応じて人への影響、災害発生状況を示しています。1時間雨量80mm以上は、名取市で平成6年に発生した「9.22集中豪雨」の規模に相当します。

1時間雨量 (mm) 予報用語	雨の降り方 想定される被害	主な災害の事例
10以上～20 未満 (やや強い雨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ザーザーと降る</b></li> <li>・ この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。</li> </ul>	
20以上～30 未満 (強い雨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>どしゃ降り</b></li> <li>・ 側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。</li> </ul>	
30以上～50 未満 (激しい雨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>バケツをひっくり返したように降る</b></li> <li>・ 山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。</li> </ul>	名取市で、毎年1回発生する程度の時間雨量
50以上～80 未満 (非常に激しい雨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)</b></li> <li>・ 都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。</li> </ul>	名取市では過去10年間で 平成23年9月21日:65.5mm 平成25年9月15日:50.0mm が発生しています。
80以上～ (猛烈な雨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。</b></li> <li>・ 雨による大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。</li> </ul>	<b>名取市(9.22豪雨)</b> 平成6年9月22日:84mm 総降水量488mmの豪雨が発生しています。 <b>伊豆大島豪雨災害</b> 東京都 大島元町観測点 平成25年10月15日:118.5mm



## 風の強さについて

風の強さは10分間の平均風速を指します。下表は、風の強さに応じた人や建物などへの影響を示しています。

瞬間風速は、平均風速の1.5倍から3倍に達することがあります。

平均風速 (m/s) 予報用語	人への影響	建造物の被害
10以上～15 未満 (やや強い風)	・ 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	・ 樋 <small>とい</small> が揺れ始める。
15以上～20 未満 (強い風)	・ 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	・ 屋根瓦・屋根ふき材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。
20以上～25 未満 (非常に強い風)	・ 何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	・ 屋根瓦・屋根ふき材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルムが広範囲に破れる。
25以上～30 未満 (非常に強い風)	・ 屋外での行動は極めて危険。	・ 固定の不十分な金属屋根のふき材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。
30以上～ (猛烈な風)	・ 屋外での行動は極めて危険。	・ 外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。住家で倒壊するものがある。鉄骨建造物で変形するものがある。

## 台風の強さと大きさの階級分け

### <台風の強さの階級分け>

階級	最大風速 (m/s)
強い	33以上～44未満
非常に強い	44以上～54未満
猛烈な	54以上

### <台風の大きさの階級分け>

階級	風速 15m/s 以上の半径
大型 (大きい)	500キロ以上～800キロ未満
超大型 (非常に大きい)	800キロ以上

日本では毎年のように台風や集中豪雨による被害が発生しています。防災気象情報に注意して、危険が迫る前に早めに避難しましょう。

## 水位情報と避難勧告・避難指示

### ●水位情報

大雨などにより河川が増水し、河川のはん濫などの災害が発生するおそれがある場合、気象庁より洪水予報が発表されます。

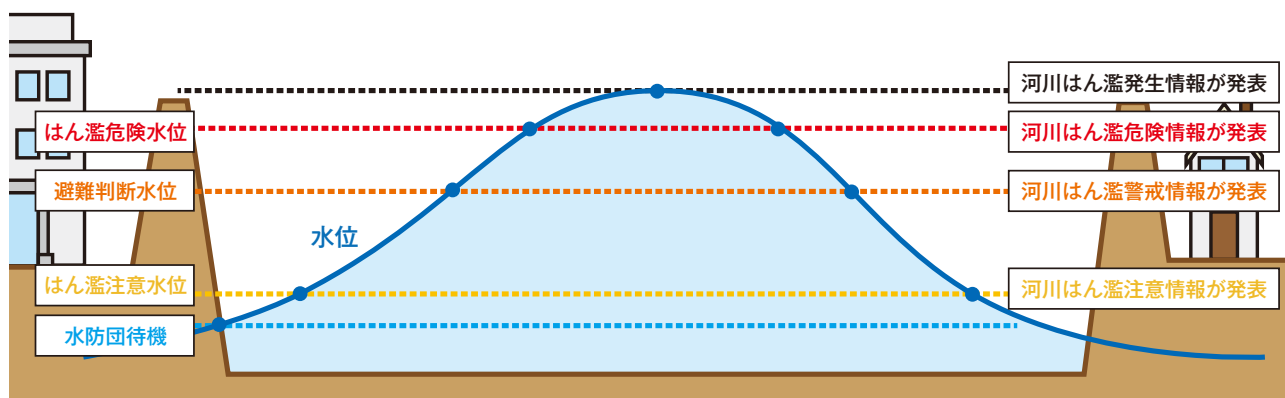
情報の段階に応じた気象情報を理解し、避難等を実践することが必要となります。

### <洪水予報の種類と住民の対応>

大雨の状況	気象情報	住民の行動
河川はん濫注意 情報	・はん濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	必要に応じて避難の準備を
河川はん濫警戒 情報	・一定時間後にはん濫危険水位に到達が見込まれる場合 ・避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	いつでも避難できる態勢を必要なら直ちに避難
河川はん濫危険 情報	・はん濫危険水位に到達	早めの避難行動
河川はん濫発生 情報	・はん濫の発生(はん濫水の予報)	避難完了

### <水位情報で用いる用語>

用語	説明
水防団待機水位	水防団が待機を始める水位
はん濫注意水位	住民が避難行動の準備を行う目安となる水位
避難判断水位	住民が避難行動を行う目安となる水位
はん濫危険水位	川のはん濫など重大な災害発生の恐れがある水位



## ●避難情報

名取市では、河川水位や気象状況などから判断して次の情報を発表します。

### ①避難準備情報

- ・非常持出品など避難の準備をしましょう。
- ・災害時に支援が必要な方は、早めの対応を心がけてください。

### ②避難勧告

- ・避難場所への避難を勧めるために発表します。
- ・避難場所と安全な避難経路を確認し、避難を開始してください。

### ③避難指示

- ・避難勧告よりも急を要する場合や、被害が出る危険性が高まった場合に発表します。
- ・直ちに避難行動を開始してください。

## ●自主避難

災害の危険が迫っていると自ら判断した場合の避難となります。  
必要に応じて避難してください。

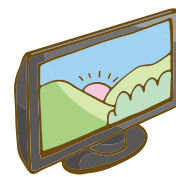
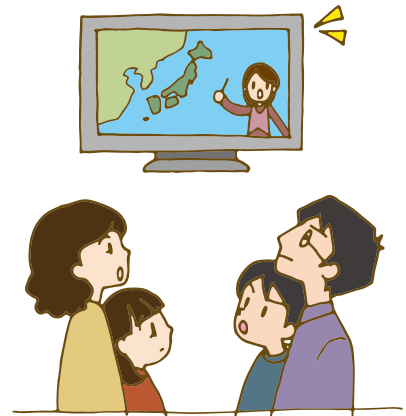
## 3 気象情報の入手について

### ●風水害対策の基本は情報収集

日頃から天気予報を気につけ、被害が心配されるとき（「数年に1度の〇〇」、「最大クラスの〇〇」「戦後最大」などの表現で報道された場合など）にはテレビやインターネットで最新の情報を収集するようにしましょう。

### ●情報の入手手段

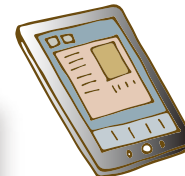
- テレビ（ワンセグテレビなど）
- ラジオ（携帯ラジオ、カーラジオなど）
- ホームページ（携帯電話など）
- 携帯メール（エリアメール・緊急速報メール）
- ツイッター



テレビ



ラジオ



インターネット



被害が心配されるときには、むやみに外出しない。台風が接近しているときや豪雨の危険性があるときは、外出を控える。

## 4 風水害から命を守るために

### ①積乱雲に注意する!(川遊びをしている時など)

積乱雲は、ゲリラ豪雨を引き起こします。平成20年7月28日、神戸市都賀川では、上流でのゲリラ豪雨により10分間で1.34mも河川の水位が上昇(国土交通省より)し、遊歩道が冠水、60人が流されて、児童3人を含む5人が犠牲になりました。

普段はなんでもない場所が、ゲリラ豪雨により命を落とす場所が変わることがあります。

積乱雲の前兆現象については32ページをご覧ください。

積乱雲の前兆現象(32ページ)を見たときに、川の中にいる場合は、川からあがる!  
近くの建物に避難する!



普段の都賀川



増水直前の都賀川



増水時の都賀川

### ②浸水時の避難は極力避ける!

平成21年8月9日の台風9号において兵庫県佐用町では、自主避難の途中で12人が用水路に流され9人が犠牲になりました。浸水時の避難は極力避けることが必要です。どうしても避難が必要な場合は以下の点に注意して避難しましょう。

- ・ 30～50cmの浸水で足をとられて流されることがあるので、ロープではぐれないようにしましょう!
- ・ マンホールの蓋があいたり、路肩が崩壊する危険性があるので、杖で足元を確認しながら避難しましょう!
- ・ ガラスなどによりケガをする可能性があるため、くつをはいて避難しましょう!



水難事故現場



浸水時の避難

### ③最適な避難行動をとる!

平成20年8月29日に愛知県岡崎市で1時間146.5mmの局地的豪雨が発生しました。

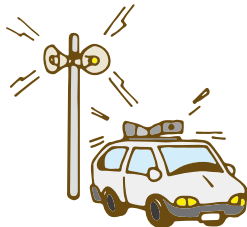
内水はん濫が起きた後、岡崎市は深夜に市内全域に避難勧告を行いました。最適な避難行動は、家屋構造・立地、家族条件等によって、それぞれ違います。状況に応じた最適な避難行動(命を守る行動)をとりましょう。

- ・土砂災害の危険がある場合、川の近くは避難が必要です!
- ・浸水が始まっている場合は、家の2階に留まることが必要です!
- ・低い場所や平屋にいる場合は、早めの避難を心がけましょう!



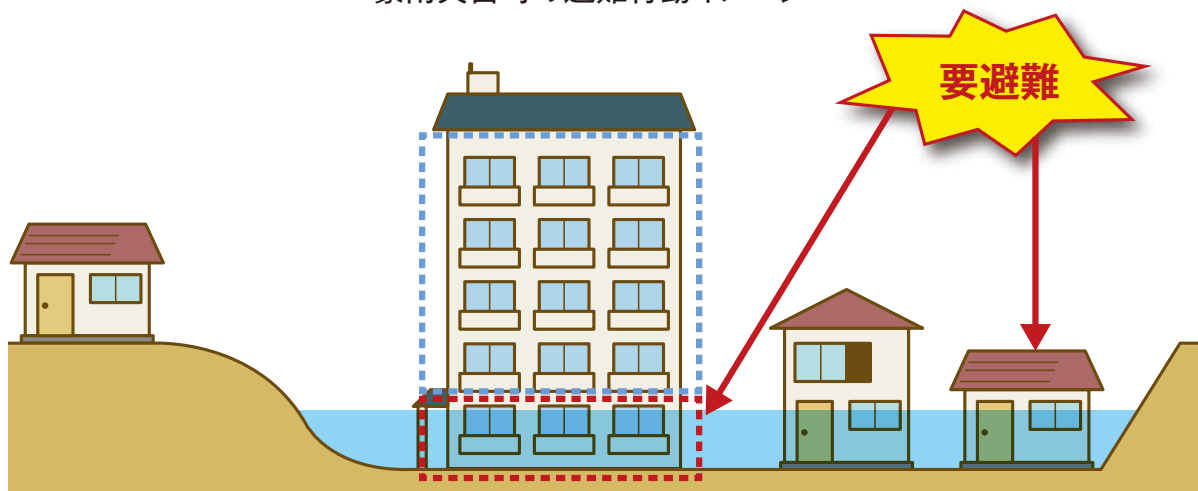
豪雨による家屋の被害状況

●日頃から指定避難所と避難経路を確認しておきましょう。



低地の平屋やマンションの1階では避難が必要です。早めの避難を心がけましょう。

豪雨災害時の避難行動イメージ



## ④土砂災害から身を守るための対処方法

土石流、がけ崩れ、地すべりに大別される土砂災害は、被災すると生命にかかわる危険が大変高いため、災害発生前に避難を終えていなければなりません。大雨によって土砂災害が発生する危険性が高まった場合、土砂災害警戒情報を発表します。ただし、大雨などの際、たとえ同情報が発表されていなくても近隣の斜面の状態に常に注意し、次のような前兆現象に気付いた際は直ちに安全な場所に避難することが必要です。

### ●土石流の前兆現象

- ・近くで山崩れなどが発生
- ・立木の裂ける音や岩の流れる音がする。
- ・溪流の水が急ににごり、流木などがまざる。



H21年中国・九州北部豪雨による土石流災害

### ●地すべりの前兆現象

- ・地鳴り、家鳴りがする。  
やな
- ・根の切れる音がする。
- ・地面が振動する。
- ・木の枝先のずれ合う音がする。
- ・亀裂や段差が発生、拡大する。



H22年奄美豪雨による地すべり災害

### ●がけ崩れの前兆現象

- ・斜面に亀裂が走る。
- ・小石が斜面からぱらぱら落下する。
- ・斜面から異常な音、山鳴り、地鳴りがする。



H23年台風15号によるがけ崩れ災害

●これらの前兆現象がみられた場合、斜面の内部や溪流の上流で既に何らかの現象が起きているということなので、直ちに避難行動を開始する!  
大雨時に、斜面や溪流に近づかないこと!

## ⑤落雷から身を守るための対処方法

2005年から2009年までの間に14人が亡くなり、50人が負傷しています。雷に打たれると生命にかかります。

雷は、周囲より高い場所に落ちやすく、また、近くにある高いものをつたって落ちる傾向があります。木の下で雨やどりしていると危険が高まります。

落雷の前兆現象は、積乱雲です。



雷の写真

雷が鳴っている時は、近くの建物や自動車など屋根のある場所に避難する!

高い木の近くでは、すべての幹、枝葉から2m以上離れる!

近くに避難する場所がなければ、姿勢を低く保ち、持ち物は体より高く突き出さない!

●“積乱雲”が近づく前兆に注意しましょう。周囲が暗くなったり、空気が急に冷たくなったりした時は、空の状況や雷の音などがしないか確認しましょう。

## ⑥竜巻から身を守るための対処方法

被害の特徴は、飛来物が猛スピードで飛んでくること、飛来物により窓ガラスが割れて建物内部の気圧の急激な変化で屋根が飛ぶこと、飛来物が建物に衝突し、そこから飛散した物体が被害を拡大することなどがあります。

竜巻の前兆現象も、積乱雲です。



竜巻の写真



竜巻による被害(つくば市)

積乱雲の前兆現象か竜巻を見たら、屋外の場合は、近くの建物に避難する!  
近くに建物がない場合は、水路や溝などのくぼんだ場所や物陰に身を伏せ、両腕で頭と首を守る!

屋内の場合は、窓、カーテン、雨戸、シャッターを閉める!  
窓から離れて両腕で頭と首を守る!

## 1 安否確認について

東日本大震災は、平日の午後に発生しました。そのために、職場や学校など家族が別々のところにいることが少なくありませんでした。

また、固定電話、携帯電話などがつながらず（当初は通信規制で、その後は中継局などに電気が供給されなかったことによる）、停電や断水が発生し、食料やガソリンが十分ではない状況でした。そのような中、家族の安否がわからない人達は、避難所や心当たりを探しまわりました。連絡がとれなくなった人は、市役所や避難所に貼り紙をして家族を探しましたが、多くの人が貼り紙を行ったため、メッセージを探すのが大変でした。

名取市では、市民ホールに安否確認コーナーを開設し、市役所と避難所に避難者名簿を貼り出しました。

家族の行方がわからない人は、  
「家族は避難したのだろうか、何処にいる  
のだろうか」と不安な状況が続きます。



事前に集合場所や連絡方法を  
定めておきましょう。



市役所入口に貼りだされた名簿等（名取市）

### ●安否確認と津波てんでんこ

安否確認の方法はもちろんのこと、日頃から災害時の対応について家族で話し合い、それぞれの避難方法や避難先などを決めておきましょう。いざという時、お互いが必ず避難することを信頼できれば、自分も安心して避難することができます。本来の「津波てんでんこ」の教えは、このようなものではないでしょうか。



## 2 非常持出品と災害備蓄品について

東日本大震災の名取市では、約11,000人が避難しましたが、必ずしも非常持出品（非常食、水など）を用意しているわけではありませんでした。

津波により孤立した閑上小学校では、津波のため非常持出品を用意する暇がなく、市と自衛隊が道路を啓開しボートで食料を届けるまで、一晩飲まず食わずの人が少なくありませんでした。

また、物流が止まり、被災した店舗が営業できない状況、品不足の状況が続きました。

非常持出品と災害備蓄品を用意しておきましょう。

### 非常持出品 ～災害発生時に最初に持ち出すもの～

#### ・懐中電灯

できれば一人に一つずつ用意  
予備の電池も忘れずに



#### ・携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるもの

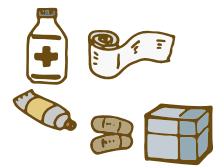
#### ・貴重品

多少の現金、預貯金通帳、  
印鑑、健康保険証など



#### ・救急医薬品

傷薬、ばんそうこう、常用薬など



#### ・非常食・水

火を通さずに食べられるもの。水は500mlなど



#### ・その他

下着類、軍手、ライター、ティッシュなど



### 災害備蓄品 ～復旧するまでの数日間を支えるもの～

#### ・食料品

缶詰やレトルト食品など非常食3日分を含む数日分を備蓄

#### ・水

飲料水は大人一人あたり1日3リットルが目安で、最低3日分は用意する。

#### ・燃料

卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベなど

#### ・工具

ロープ、バール、はさみ、ジャッキ、スコップなど

#### ・その他

簡易トイレ、毛布、寝袋、ラップ、食器類、使い捨てカイロ、マスク、シート、照明器具、筆記用具、予備のメガネなど

※災害備蓄品は、家族全員がわかる場所に保管しましょう。



## ●防災意識の向上と風化のおそれ

東日本大震災では、市民全員が被災者でした。

名取市では、断水や食料、ガソリンの不足を経験したことから、震災後、非常持出品や災害備蓄品の準備を実践する人、こまめに給油する人が増えました。

しかし、時間の経過とともに意識が風化し、非常持出品の入れ替えをしなくなった、給油が雑になったという声を聞くこともあります。

いつ来るかわからない災害に備え、震災当時の状況を思い出し、非常持出品や災害備蓄品を準備する、震災の経験を次世代に繋ぐ、個人の地域の意識が本当に大切です。

## 避難時の服装について

### 避難時の服装

動きやすい服装で避難しよう。  
ヘルメットがあれば着用し、  
頭部を守りましょう。  
冬は暖かい服装を着用しましょう。

### 避難時の持出品

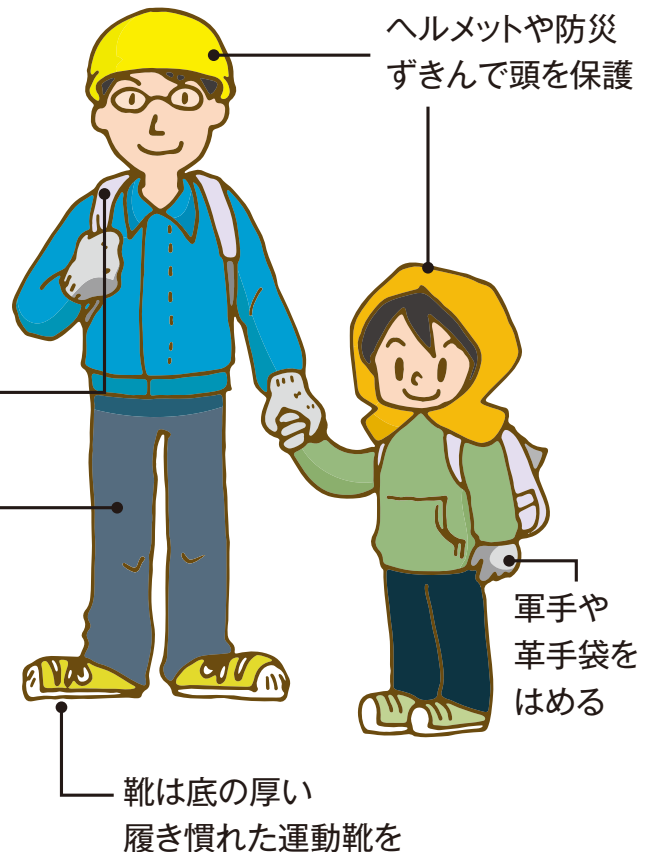
持出品は携帯ラジオなど  
必要最小限にしよう。

燃えにくい木綿製品を

長袖・長ズボンを着用

荷物が多いと避難しにくく、逃げ遅れる可能性もあります。

必要最低限の荷物を持って避難し、命を守ることを第一優先に行動しましょう。



●水害避難時、路肩崩壊やマンホールの蓋があいていることがあるので、杖（かさなど）やロープを持参しましょう。（39ページ参照）

●救命胴衣がある場合などは、着用して避難しましょう。東日本大震災の津波時、流れてきたものや浮力のあるものにつかまって助かった人が少なくありませんでした。万が一、津波にまきこまれそうな場合は、浮力のあるものにつかまりましょう。

### 3 避難生活について

東日本大震災の名取市では、3月11日、約50か所の避難所に約11,000人が避難し、停電で真っ暗な中、余震などで不安な夜を過ごしました。

停電と断水が解消すると、多くの避難者は自宅に戻れましたが、津波により家をなくした人など長期避難を余儀なくされた人がいました。

避難所での生活は、決して楽なものではありません。

避難の段階に応じて、周りの人を思いやり、協力し合って避難生活を送りましょう。

#### ①避難所の開設・避難者の収容 ～避難所に入るとき～

市の職員や施設の職員が、建物の安全確認を行い、避難スペースを決定します。

避難者は、建物の安全が確認されるまで、なるべく町内会ごとに建物の外に待機し、職員の指示により避難所に入ってください。

町内会や自主防災組織の役員を中心に、避難誘導や避難所の設営に協力をお願いします。

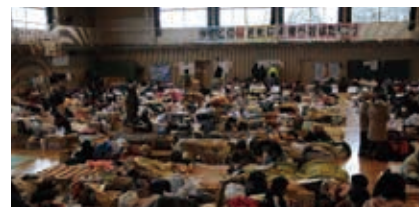
#### ②初期の避難生活

～避難勧告などが解除されるか、電気・水道が復旧するまで～

町内会ごとにまとめ避難人数を確認し、避難者名簿を作成します。市から救援物資が届くまでは、非常持出品などで対応してください。

町内会や自主防災組織の役員を中心に、次の協力をお願いします。

- ・ 避難人数の確認、避難者名簿の作成
- ・ 市からの救援物資の搬入、配布の手伝い
- ・ 簡易トイレの設置、トイレ用の水汲み（断水の場合）
- ・ その他



避難所の状況（名取市）

#### ③長期の避難生活

避難生活が長期になる場合は、市職員や施設職員の指示に従い、避難所自主運営組織を作り、避難生活を送ってください。

町内会などの単位で班を編成してもらい、食事の用意や清掃など当番を定めます。

<避難所での役割の例>

- ・ 食事の用意・配給・洗い物
- ・ 支援物資の整理・配給
- ・ 避難所及びトイレの清掃
- ・ ゴミの分別・搬送、衛生管理



避難所の運営  
（名取市）

## 4 東日本大震災時の名取市の自主防災組織の活動

名取市では、近い将来高い確率で発生と言われていた宮城県沖地震（10年で70%、20年で90%、30年で99%）などに備え、町内会や自治会単位で自主防災組織の設立が行われてきました。

震災が発生すると、自主防災組織や町内会では、防災資機材を活用しさまざまな自主防災活動を行いました。

### ●東日本大震災時における自主防災組織の活動

（平成24年度名取市防災リーダー研修の参加者より）

- ・ 安否確認、声かけ、地域の巡回
- ・ 一時避難所（集会所）の開設、防災資機材（発電機など）の活用
- ・ 炊き出し、食料・飲料の調達と配布
- ・ 情報収集と伝達（伝言板や回覧）
- ・ 指定避難所での炊き出し、食料・物資の提供、ボランティアその他の支援
- ・ 高齢者のために倒れた家具の設置や屋根瓦が落ちた屋根をブルーシートで保護した組織もありました。

### ●東日本大震災後の自主防災組織の変化

名取市では、震災の経験を踏まえ、自主防災組織の設立、マニュアルの作成や改訂、組織の改変、役員の参集基準の明確化、防災資機材の購入などの活動を行った組織も少なくありません。防災訓練への参加者が増えたという報告もあります。



自主防災組織とは、町内会など地域住民が協力して、「自分たちのまちは自分たちで守る」ため、日頃からさまざまな活動を行う組織です。「あなた自身」や「地域みんな」のために積極的に参加しましょう。

## 自主防災組織の主な活動

### ●平常時の活動

- ・ 防災知識の普及
- ・ 地域内の災害危険箇所などの確認
- ・ 家庭内の安全点検
- ・ 防災用資機材の整備点検
- ・ 防災訓練の実施
- ・ 支援の必要な災害時要援護者の確認

### ●災害時の行動

- ・ 情報班 : 災害に関する情報の収集と住民に対する正しい情報の伝達
- ・ 消火班 : 出火防止及び初期消火活動
- ・ 避難誘導班 : 住民の避難誘導活動
- ・ 救急救護班 : 負傷者の救出、救護所への搬送、救護活動
- ・ 給食・給水班 : 水や食料などの配分、炊き出しなどの給食、給水活動



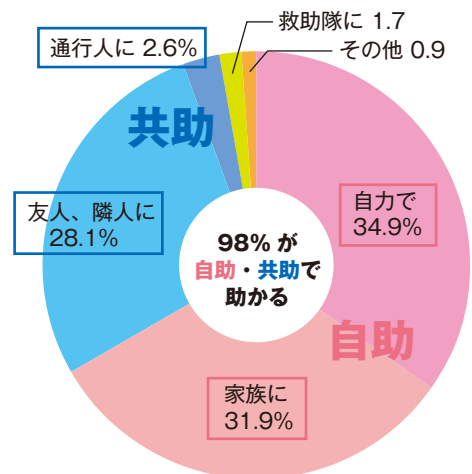
支援物資の配布

### ●自主防災組織(共助)が必要な理由

東日本大震災の名取市では、津波で孤立した沿岸部の道路啓開や救助・行方不明者の捜索、避難者への対応、水道などの応急対策に全力を挙げ、全地区に救援を行える状況ではありませんでした。阪神・淡路大震災では、建物の倒壊で多くの人が生き埋めになり、家族や隣人が救助活動を行いました。

想定を超える災害が起こったとき、個人の力ではどうしようもない状況に直面します。そのとき、隣近所の助け合い・自主防災組織など地域の助け合い(共助)が必要になるのです。

阪神・淡路大震災時の人命救助状況



## 1 チェックリスト

## 非常持出品リスト

品名	点検年月日	有効年月日
<p>●非常食・水</p> <p>缶詰や乾パンなど、火を通さずに食べられるもの。 水はペットボトル入りが便利。</p>		
<p>●懐中電灯</p> <p>できれば一人に一つずつ用意。予備の電池も忘れずに。 (発電式のものもある)</p>		
<p>●携帯ラジオ</p> <p>小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるもの。 最近では手動で充電できるものや、携帯電話の充電ができるものなどがあり便利。</p>		
<p>●予備電池</p> <p>懐中電灯やラジオ用</p>		
<p>●貴重品</p> <p>多少の現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証、住民票のコピーなど。公衆電話を利用するための10円玉やテレホンカードも。</p>		
<p>●救急医療セット</p> <p>傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬などのほか、常用薬があれば必ず用意する。</p>		
<p>●その他</p> <p>ヘルメット、下着類、軍手、タオル、マスク、ライター、ナイフ、ティッシュなど</p>		
<p>●その他各自の必要品目</p>		

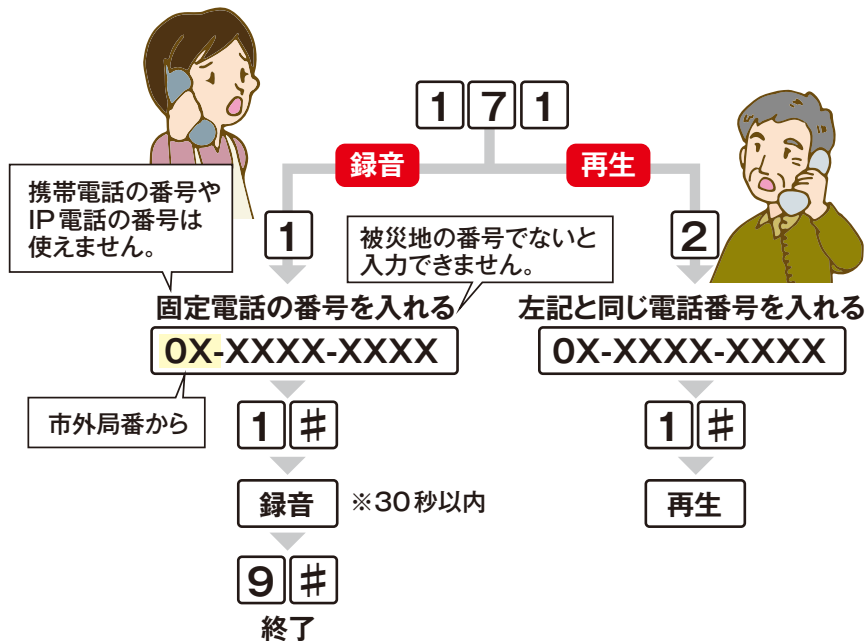
## 2 安否確認の方法

災害時、家族や知人の安否を確認するため、複数の通信手段を使って連絡が取れる確率を高めましょう。音声による連絡方法、文字による連絡方法などがあります。

### 音声による連絡方法

#### ●災害用伝言ダイヤル

**1 7 1** で声を残す



### その他連絡方法

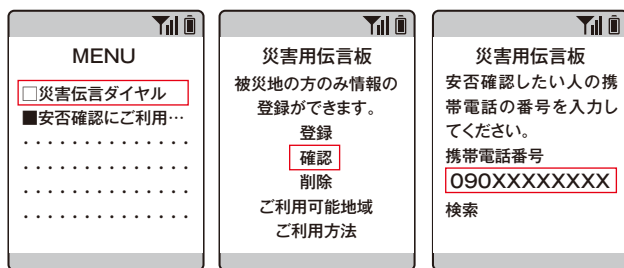
#### ●第三者経由

家庭と出先の家族とが通信できない事態に備えて、他地域何箇所かにそれぞれ連絡先を決めておく。

そこに双方が無事や状態のメッセージを託し、それを取り次いでもらうというやり方が考えられます。

### 文字による連絡方法

#### ●携帯電話サービス災害用伝言板を利用



安否確認したい人の携帯電話の番号を入力して検索ボタンを押す。そうすると登録内容が確認できる。



#### ●携帯電話のメールを利用

携帯電話は通話よりもメールが有効です。災害時は相手に届くまで時間がかかる場合があります。

#### ●パソコンのEメールを利用

東日本大震災では、電話が利用できない状況の中でも、パソコンを使ったEメールは比較的届きやすかったと言われています。



### 3 指定避難所一覧

#### 名取市指定避難場所（平成 26 年 1 月 1 日現在）

	名 称	所 在 地	電話番号
1	増田小学校	増田三丁目 9 - 20	022-382-2005
2	増田中学校	増田字柳田 230	022-384-2329
3	市民体育館	増田字柳田 250	022-384-3161
4	名取北高等学校	増田字柳田 103	022-382-1261
5	増田西公民館	手倉田字堰根 265 - 1	022-384-0055
6	増田西小学校	手倉田字堰根 330	022-382-2546
7	第一中学校	小山一丁目 8 - 1	022-382-3321
8	不二が丘小学校	名取が丘六丁目 11 - 1	022-382-2097
9	名取が丘公民館	名取が丘三丁目 5 - 3	022-384-2709
10	関上小学校※	関上字鶴塚 52	-
11	関上中学校※	関上字五十刈 1	-
12	名取市斎場	小塚原字新鍋島 159 - 2	022-385-1431
13	下増田公民館	美田園七丁目 22 - 3	022-382-2335
14	下増田小学校	美田園七丁目 23 - 3	022-382-3227
15	館腰公民館	植松三丁目 9 - 5	022-382-2006
16	館腰小学校	植松一丁目 2 - 17	022-382-2425
17	本郷幼稚園	本郷字矢口 84	022-382-2524
18	(株) フクベイフーズ	堀内字北竹 210	0223-29-3211
19	愛島公民館	愛島笠島字弁天 19 - 3	022-382-2422
20	愛島小学校	愛島笠島字東蔵神 34	022-382-2538
21	愛島老人憩いの家	愛島塩手字岩沢 4 - 2	022-382-0642
22	北目生活センター	愛島北目字竹の内 90	-
23	仙台高等専門学校名取キャンパス	愛島塩手字野田山 48	022-384-8013
24	高館公民館	高館吉田字東真坂 38	022-382-2328
25	高館小学校	高館吉田字長六反 117 - 3	022-382-3033
26	第二中学校	高館吉田字吉合 90	022-384-8401
27	ゆりが丘公民館	ゆりが丘二丁目 1 - 1	022-386-6055
28	ゆりが丘小学校	ゆりが丘三丁目 21	022-386-3225
29	相互台小学校	相互台一丁目 27 - 1	022-386-5551
30	相互台公民館	相互台一丁目 10 - 3	022-386-2019
31	那智が丘公民館	那智が丘三丁目 1 - 5	022-386-6266
32	那智が丘小学校	那智が丘二丁目 1 - 1	022-381-2521
33	みどり台中学校	みどり台一丁目 4	022-381-2032

※関上小学校、関上中学校につきましては、津波緊急避難場所です。

#### 災害応援協定などによる津波緊急避難場所（平成 26 年 1 月 1 日現在）

	名 称	所 在 地	電話番号
1	仙台空港ビル	下増田字南原（仙台空港内）	022-383-4301
2	まなウェルみやぎ	美田園二丁目 1 - 4	022-784-3541

### 4 関係機関連絡先【公共機関の連絡先】

市役所

名取市役所

TEL : 022-384-2111

警察署 110

岩沼警察署

TEL : 0223-22-4341

消防署 119

名取市消防本部

TEL : 022-382-0242